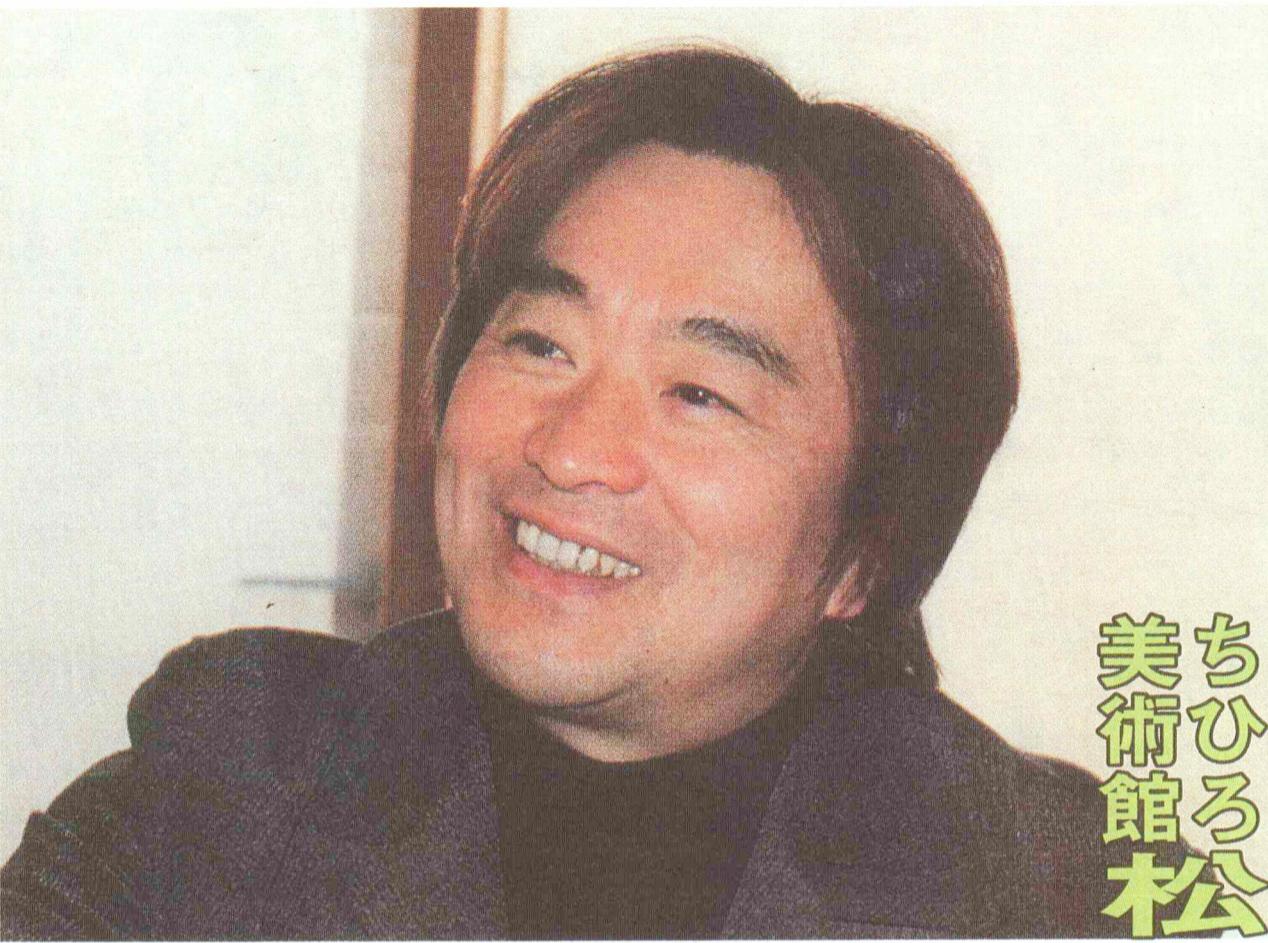


美術館は心輝かせる場

ふるひとー」のメッセージ、「2003年日本のうごえ祭典inながの」（11月14・16日）、このポスターはすでに注目を集めている。新春インタビューは、その絵の作者いわさきちひろさんの子息、「ちひろ美術館・東京」について、1997年に長野県に建てられた「安曇野ちひろ美術館」館長、絵本評論家の松本猛さんに登場してもらった。新春にさわしい、夢のある心豊かなお話を聞けた。

三輪純永編集長の



ちひろ松本猛館長に聞く

三輪 松本（まつもと）さん、ちひろさんの絵のこと、今回使わせてもらつた絵が、語つていただく所だ。

思想を描く技術

く、うかがいま
した。よろしく
お願ひいたしま
す。
著書（『母ち
ひろの　ぬくも
り』）にありま
した、絵は見る
人の中に想像力
れば絵を描きたい人や研究
松本　この絵も、技術的
言えば、高度な技術、例えば
髪の毛の表現一つとっても
らし込みという技法、かす
させて描く渴筆表現、帽子
輪郭をつけずに描いている
ど、日本画の伝統的な技法
使われています。しかし、
人は絵を描きたい人や研究

い技術や思想があると思いつく。す。
いわききちひろといふ人、絵を描かなかつた日はほどないといふ人でした。どこへ行くにもスケッチブックを持っていました。(6、7面につづく)

賀正2003年

新年号 若者パワー／音大同期生ピアニスト対談
青春BBS

3面

各ブロックからの
データ

「ソノ風」年賀状 2003年 日本のうたごえ

樂譜

「なかのへ」 小林信敬運営委員長 和太鼓／海外通信

10

平和の風 池辺晋一郎 12面
松代から沖縄・世里へ 「空を見てますか」

※次号1月20日までの本屋発送は1月10日です

モテツト合唱団の演奏を
今も思い起すのは、心に
しみる研ぎ澄まされた響き
とそこから伝わる強い意志
である。今年も本紙は、広
く、人々と歌・音楽の現場
を送りたい。

に十字架が林立するほど教会が多く、その聖歌隊も含め合唱は盛んだが、同団は群を抜くこと聞く。韓国は今、朝鮮民主主義人民共和国との対話と統一をすすめる金大中の「太陽政策」を引き継ぐ盧武鉉氏を次期大統領に選び、一方で米軍の少女慰安事件には大抗議集会が起こっている。それらの場にも歌声があるという。

行って、ヤッホーを叫んでみたいと思います。今年はもっと、うたごえ新聞が発展されますように、そして日本の合唱音楽もいろいろなジャンルの声楽界も、さらに、ご発展しますように祈ります。2003年元旦」

韓国ソウルモテツ
合唱団代表の李仁榮さんより、新年のメッセージをいたしました(昨年10月、アジア・コラルメッセージで来日。本紙既報)。

ふめんたる